

東京外国為替市場委員会 第 138 回会合 議事録

開催日時 2011 年 1 月 13 日 13 : 00～14 : 00
場 所 日本銀行本店 新館 9 階中会議室
議 長 中野 北斗
書 記 竹内 淳
出席委員 16 名

I. 小委員会報告

1. 運営小委員会

竹内書記より、各国の外為市場委員会の事務局と電話会議を行った結果、海外でもドット・フランク法のデリバティブ規制に関する関心が高まっている旨が報告されました。井上小委員長より、2月1日の年次総会では、各小委員会からの活動報告や2010年度の会計報告が予定されている旨、連絡がありました。

2. BCP小委員会

葛原準委員より、11月17日に実施したBCP訓練に関する参加者からのアンケート結果が報告されました。小委員会として今後取り組むべき課題として、被災想定シナリオの多様化やブラインド化によって実践的な訓練を実施することや、他市場とのフェーズ認定レベルの統一化を検討することが挙げられました。また、BCPWebの運用に関して、定期的なメンテナンスや、携帯電話版の機能改善にも取り組みたいとの意向が示されました。

3. 教育小委員会

河野小委員長より、次回フォレックス・セミナーの案内状が完成し、配布されました。セミナーへの参加人数を増やすために案内状を広く配布していく方針が確認され、その配布先や方法が話し合われました。

4. E-Commerce 小委員会

高木小委員長より、電子取引（特に High Frequency Trading）の拡大が東京外為市場に与える影響や最近の外為証拠金取引の動向について、論点整理を行った旨、報告がありました。

5. 決済小委員会

小松小委員長より、外為デリバティブのポスト・トレード処理に関する勉強会を行った旨、報告がありました。今後の勉強会で欧米における OTC デリバティブ規制改革や海外の清算機関の動向について理解を深めていく方針を確認したほか、OTC 取引の清算について理解を深めた旨、報告がありました。

II. その他

本会議終了後に、米系法律事務所の外部講師よりドット・フランク法におけるデリバティブ規制についての講義と質疑応答が行われました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (1月13日現在)

<委員>

議長	星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○竹内 淳	(日本銀行)
運営小委員長	○井上 英明	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	大木 一寛	(EBS ディーリング・リソースジャパン)
教育小委員長	○河野 文彦	(野村証券)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNP パリバ銀行)
決済小委員長	○小松 淳	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○高木 晴久	(三井住友銀行)
	○北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	○小田川 正知	(ゴールドマン・サックス証券)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフレックス上田ハーロー)
	大西 知生	(ドイツ証券)
	広田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)

<準委員>

	野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○山本 嘉樹	(みずほコーポレート銀行)
	○葛原 圭	(三菱東京 UFJ 銀行)
	○古賀 麻衣子	(日本銀行)

<オブザーバー>

	○河西 修	(財務省)
--	-------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。